

▲嵐溪荘(国登録有形文化財)



▲大竹啓五社長



▲ワークルーム



▲「花筏」201号室



▲「みす木」202号室



▲「木蓮」203号室



▲みらいポスト



三条市下田、山里の
渓流の一軒宿。国登録
有形文化財の貴重な木
造3階建てとして数々
のテレビドラマの撮影
場所としても使用され
た嵐溪荘が、このたび
に採択され、リノベー
ションが実行された。
12月3日(日)嵐溪荘に
大竹啓五社長を訪ねた。
リノベーションのコン
セプトについて何うと
「建物自体古くなって
いますし、コロナ禍で
減っています。燕三条
は国内有数の、ものづ
くりの町です。スノ
ーピーやマルナオ、玉
川堂などのオーブンファ
クトリーなどを見学して

嵐溪荘に泊る。新し
い時代の社員旅行“
”大人の修学旅行“
を提唱して行くため
事業再構築補助金に
応募しました。①既存
36畳の和室宴会場を
ワーキングルーム兼食
処に転用する。36畳
を可動式パーティシ
ョンで4区画に分割
廊下の位置を西側か
ら東側に変え、中庭
側に広縁を設け小ス
ペースながら解放感
ある個室とした。設
備はホワイトボード
プロジェクト等
Wi-Fi環境もあり、
会社を始めとするグ
ループの会議や研修
会場としての利用が
できる。大竹社長は
「1泊だけではなく
2泊くらいで一諸に

非日常的な空間で過
ごすことがコミュニ
ケーションが深まる
と考えます。②
②山手の離れの4室
の和室を改修し3室
にした。和室6畳は
2室を1室にし2
5名に対応。3室共
に初のベッドルーム
とした。ワークデス
ク+ベッドルーム+
テラス。Wi-Fi環境
も充実。一人でも家
族で、クループ向け
利用で3室貸切宿泊
棟としても利用でき
る。今後はデッキでの
喫煙用具(コガマツト
お香)を貸し出す予定
。又、特筆すべきは
各部屋に、燕三条も
のづくり“の技術が
施されている。20
1号室の「花筏(はな
いかた)」には燕市の

202号室の「み
す木」には「神代樺
ず木」には「神代樺
アトフレイム」一
五八〇年前の樺。黒
壇の箸は渓流の流れ
を表わしている。ヘイ
ランドの希少な黒壇(は
マルナオでの最高級
木材)
203号室「木蓮」
では「茶箕」を清流
や木々の間に流れる
風に舞う木の葉をイ
メージしたものの、燕
三条の「ものづくり
の技術が随所に活か
されている。
大竹社長は現年51
才。大学を卒業後は
2年間東京でサラリ
ーマンを経験する。
約20年前に嵐溪荘先
代社長に呼ばれ入社
2011年の福島新
潟豪雨で名物の吊り
橋が流されてしまっ
た。その後守門川の

幅が10M拡がった。
大竹社長は「吊り橋
は人があつたと思
再度掛けたいと思
つてはいます。川
その豪雨の影響で
土が庭に上がり、庭
の土が野も良質に
なり、山野草が自生
するなど富をもたら
してくれました。
嵐溪荘では日帰り
入浴も利用できる。
時間は大浴場11時
14時30分。山の湯(へ
石湯)は11時〜12時(へ
殿方)13時〜15時30
分。婦人(深湯)は
11時〜12時。婦人、
13時〜15時30分。殿方
で、大人千円、小人
七百元。軽食も用意
している。(詳しくは
ホームページ)は「
館内ポスト」があり、
みらいポストがあり、
12年後の自分あて、
家族あてに必ず届く
というサービスを実
施。1年間に500
通の投函がある。
リノベーションし
た「新しい嵐溪荘」
には是非お掛け下さい。

あんしん
取材班が行く
〈三條市下田〉
越後長野温泉嵐溪荘(翠修館)
リゾートシネオリーブ
「仕事創りの宿」を新展開
を訪ねて

鉄道開業150周年、社長・安藤幸広 産業規模が15兆円に！

2022年10月14日に江戸幕府後の明治維新政府のもとで鉄道が開業、150周年を迎えている。当時の鉄道は英国の蒸気機関車や客車が採用され、鉄道建設技術も英国人であった。丸々借金も英国にしている。しかし3年という短期間で新橋と横濱間(約29km)を1872年(明治5年)に開業にこぎつけている。3年という短期間で鉄道が出来たのも安土桃山時代から受け継がれてきた土木技術の内、卓越した石垣築城の技術が、鉄道建設に生かされ、特に橋梁工事には大活躍したとある。

開業直後の翌年1873年の年間営業成績は、一日当たり約100人の客、1日あたり約47人の荷物、客収入約42万円、荷物収入約2万円、営業経費約23万円、営業利益約21万円となり、明治維新直後の産業らしき産業がなかった当時の日本に、鉄道事業は儲かる両売となり、鉄道網が計画され建設されて行く。この鉄道事業が富国強兵と資本主義を受け入れのきっかけにもなっていた。しかし機関車運転手と運行時刻管理者等は高給を払う英国人のお雇いであった。何んでも自前の技術となるには時間も費用もかかるものであろう。明治維新直後の日本には旅客を運ぶ陸上交通手段として馬・籠しか思いつかないが所謂「鉄道」に代表される「文明開化」は瞬く間に日本全土に広がって行った。過去現在の貨幣価値はともかく、鉄道の年収入は1550年前の年間収入44万円・営業距離29kmから2021年統計で年間収入15兆円・営業距離約27,000km・利用客年間251億人の巨大産業に発展している。しかし鉄道網が広がり乗車距離や時間も長くなるなど、ここには空くものだ。それを解決すべく東北線85年(明治18年)



▲牛肉どまん中



▲魚参まの押寿し



▲采鳥めし弁当



▲三種の海鮮めし



▲上越新幹線開業40周年記念



▲上越新幹線開業40周年記念

7月16日に初めて駅弁が登場する。1にぎりめし2個とたくあん2枚、卵を竹の葉に包んだ簡素な駅弁の登場であった。委託を受けた宇都宮駅近隣の旅館白木屋が製造した。しかしこのおにぎり弁当も一大革命を起す。客車の車窓から風景を眺めながらおにぎり弁当を食べるといふ事も新鮮で、一大ブームとなる。その波及効果もあり、駅弁も各地各駅で提供される。そして1890年(明治23年)には姫路駅で折詰に入った駅弁が提供された。この形態が現在の駅弁の定番となつていく。また包装紙に「○駅立売商會記」の文字が入ればその駅発祥の駅弁屋さんと分かる。現在でもJR管内では147駅で駅弁が提供され、年間売上11億5000万円もの巨大産業にもなつていく。その17月16日は駅弁記念日に制定された。

さてJRグループでは鉄道開業150周年記念イベントを多数開催していった。在来線「特急とき」が2日間ながら新潟から東京駅構内の売店「AM10時頃」から全国から選りすぐられた駅弁が集まる。この駅弁が集まる駅も有名駅弁・昔懐かしい復刻駅弁等が集合していった。入場券を買ってでも駅弁を求めたりお土産として複数個買いたいという人が、駅弁が売れるようになったのである。11月の中間報告によれば、山形県米沢市の「牛肉弁当」が断トツの1番人気となつている。また上越新幹線も11月14日開業し40年経つ。在来線「特急とき」号で東三条上野間が約4時間程度かかっていたが、乗り心地もよくなり大宮乗り継ぎながら2時間30分程度で上野まで行けるようになった。必要だった駅弁2個が1個で済むようになった。1個でも済むようになった。それでは個人的好みではないと思う。駅弁を食べてほしい。第1位は鎌倉大船軒の「大正2年発売以来の」高崎「かべん」の「鶏めし和押」第2位は「高崎」の「鶏めし和押」第3位は「昭和18年創業の」札幌立売商會の「蟹めし」。盛り込んだ「蟹めし」の海鮮めし弁当である。自民党政府の懸命な景気対策も中々成果に繋がっていない。感がある。明治維新政府の鉄道事業が大樹のように成長したように100年先の産業が生まれるような政策はないものかと駅弁を食べながら思案するこの頃なのである。

今年も当社とともども大変お世話になりました。2023年も引き続きお祈りいたします。(次回に続く)

今月のライズ

Q 実話です。意味を説明して下さい。

「私の父は、私の自心子です。また、私の娘は私の母です。」

Vol.404 の答と当選者発表

▲ 1万円10人が得です

▼ 近藤久美子(加茂市)
▼ 今井千代子(三条市)
▼ 池田 真琴(上野)
▼ 池田 正寛(上野)
▼ 石山 岳徳(加茂市)

955-0095 三条市代官
川原 2-2-1
株式会社 川原
あんぱん工房
あんぱん工房

クイズの答えは
① 自心子
② 母
③ 父
④ 娘
⑤ 父

しるし：2月10日

年末年始の営業時間のお知らせ

● 灯油配達

- ▶ 2022年は 12月30日(金)まで
- ▶ 2023年は 1月4日(水)より

● 本社スタンド・田上店

- ▶ 12月30日(金)AM 8:00~PM 5:30
- ▶ 12月31日(土)AM 8:00~正午12:00
- ▶ 1月1日・2日休業
- ▶ 1月3日(火)AM 8:00~PM 5:30
- ▶ 1月4日(水)より通常営業